

国立天文台・天文情報センター・特別客員研究員 中桐正夫

*大正時代に三鷹の東京天文台の建設に携わった神谷乙次郎氏の写真

アーカイブ新聞第738号(2014年7月3日)に「旧東京天文台本館建設直後の写真入手、旧本館の写真いろいろ」という記事を書いた。その記事は、曾祖父が大正時代に東京天文台官舎に住んでいて、東京天文台が麻布から三鷹への移転建設時代にその仕事に携わっていたという方から、建設直後の旧東京天文台本館の写真を送っていただいて書いたものであった。

このような貴重な資料がまだあるのではないかと、その曾孫である神谷公太氏にその存在を尋ねたところ、曾祖父にあたる神谷乙次郎氏のアルバム2冊が提供された。

神谷乙次郎氏の名前は、東京天文台70周年誌、90周年誌、100周年誌にも名前が見当たらない。70周年誌には「主な旧職員」とあり、90年史には「退職時に本官以上であった専任職員、または10年以上東京天文台に勤務して……」、100周年誌も同様なことが書かれている。神谷乙次郎氏はアルバムにある写真を見ると判任官官舎(写真1)であった2号官舎にお住まいであったようであるから、東京天文台専任職員であったなら、旧職員名簿に名前がなくてはならない。筆者が想像するに、神谷氏は東京帝国大学施設部の方で現場管理にあたっておられた方で東京天文台職員ではなかったのではないかとと思われる。アルバムの中に「天文台にあり志日」と書かれた数枚の写真を張ったページもあることから、東京天文台の職員ではなく、麻布から三鷹への移転のころ東京天文台に滞在された建設関係の方のように思われる



写真1 お住まいであった官舎



写真2 官舎の縁側で家族写真

写真1には、官舎の建設資材の材木が見える。1号官舎は大正4年に建てられた高等官官舎であった。提供された写真には、アーカイブ新聞第738号で紹介した建設間もない東京天文台本館の写真の他、本館の別アングルの写真、第1赤道儀室の写真などもある。

今回、入手した東京天文台旧本館の写真5葉である。



写真3 工事期間、撮影年月日の入った写真



写真4 支柱に支えられた植生がある本館



写真5 本館前の植生



写真6 3人の子供が写った本館



▲ 写真7 北西の60m鉄塔から撮影

次に第1赤道儀室の写真である（写真8）。この写真の右後方は「天文台構内古墳」と思われるが、こんもりした森に見える。

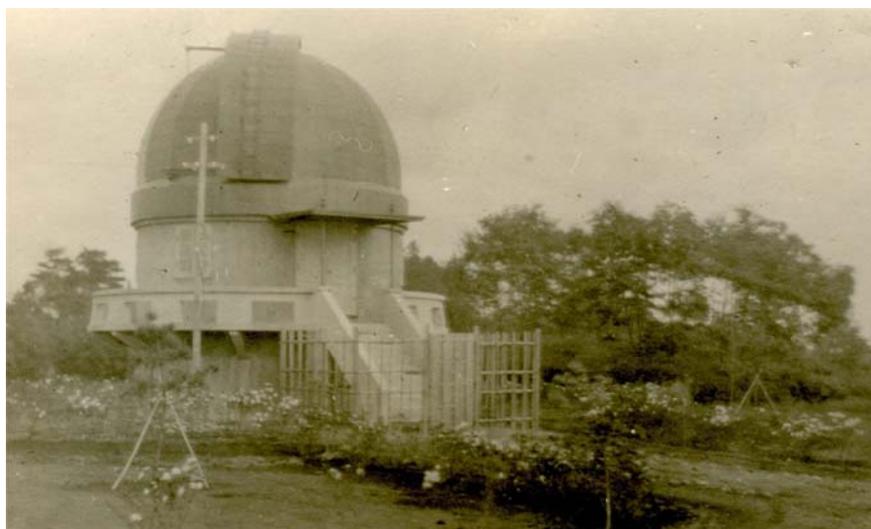


写真8 第1赤道儀室 右後方は天文台構内古墳



写真9 第1赤道儀室前の子供たち 当時の様子が興味深い

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp